

# 妊婦さんにはご注意！

## 今年は風しんが流行しそうです

今年は、全国的に風しんが流行しそうなきざしがみえています。風しんは、数年から10年の間隔で学童を中心に流行し、季節的には2、3月頃から6月頃までが流行期です。

風しんそのものは、比較的軽い病気ですが、妊娠初期の妊婦がかかると、生まれてくる子どもに障害が起る危険があります。20歳代の女性の70%から80%は、風しんに対する免疫を持っているといわれていますが、結婚を予定している女性は、風しんの抗体検査や予防接種をうけて免疫をつけておくことをお勧めします。

### 全身に発疹が

風しんは、感染してから14～21日位の潜伏期のあとに発疹がでます。

熱や発疹のでる前に全身のだるさを感じることもあります。軽い病気のため気づかない人も多いようです。

はじめに、耳のうしろや後頭部のリンパ腺がはれるなどの症状がでて、まもなく発疹がでるのが一般的な症状です。

発疹は、はじめ顔からでて、24時間位の間で全身に広がり手や足に

まででます。あせものようなピンク色の発疹で普通3日位で消えます。

感染は、はしかやかぜと同じように風しんウィルスが患者の、のどから排出され、これを吸った人が感染します。

### 胎児に心臓奇形などの影響

風しんが問題にされるのは、幼児や学童期の子どもではなく、問題なのは、まだ風しんにかかったことのない妊娠初期の妊婦さんです。

風しんによる被害の最大なものは、妊娠初期の婦人が感染した場合、胎児におきる先天性風疹症候群という障害です。

その障害でいちばん多くみられるのは、先天性白内障と先天性心臓奇形、聴力障害などです。

この他にも知的障害とか、あるいは感染が強度であれば死産や流産を

おこす場合もあるといわれています。

流行期を安心して過ごすためにも、女性は結婚前、あるいは結婚の決ま



結婚する女性は免疫を

った時点で、風しんの抗体検査をうけ、まだ免疫のない人は、予防接種をうけて免疫をつけておく方が安全です。

風しんは、一度かかれば終生免疫があるといわれています。

※抗体検査・予防接種については、最寄りの医療機関でご相談ください。(料金は自己負担)

●抗体検査料 2,500円程度

●ワクチン接種料 5,000円程度

あの街



わが街



高橋マリさん(35歳)  
(美原町)

### プロフィール

東京都世田谷区出身。去年の4月ご主人の転勤に伴い富士市民となりました。小3と幼稚園児の娘2人を持つテニス好きなママさんです。

高橋 富士市の印象はどうですか。  
眺めても真正面に見えて……。気候もいいし、それに子ども達が走るところもあるし気に入っています。

高橋 実際生活してみても感想は？  
高橋 東京では隣に住む人も知らないような状況でしたが、こちらへ来て地域住民相互のつながりが強いのに感心しています。

高橋 地区の運動会のエネルギーには驚ろきました。子ども会も盛んですし、ゴミの分別収集もそうです。はじめはめんどろだという気もありましたが、慣れてみると良いことだなと思いますね。  
こうしたことから地域の人たちと知りあえるチャンスがつかめますし、私たちがとつてはありがたいです。

高橋 行政について望むことは。  
高橋 水道の水がとてもおいしい。これはずっと続けてほしいです。図書館をもっと利用したいんですが、場所が不便で……。自動車文庫の巡回をもっとやってほしい。市民大学や各種講座をいろいろやっているようですが、聴講者も参加できるような形式でやってほしいです。内容は子供達も興味を持ってほしいように聞けるようなものがないですね。